

## 八ヶ岳アイスクライミングと氷を求めてのラッセル

日時 天気 令和3年12月17(金)～19日(日)

メンバー Y.Y., T.K., R.K.

17日天気 雨 後 雪 美濃戸 8:10 鉱泉 10:00～10:30 F2 11:20～13:50 鉱泉 14:20

八ヶ岳山荘で仮眠し、美濃戸へと入る。低気圧の通過後、強い寒気が入ってくるとの予報で、林道途中で雨が雪に変わった。北沢登山道を辿るうちに雪は小降りになったが、気温が低下し風が強まりだす。赤岳鉱泉では新雪が20cm以上積もっており、先週の積雪と合わせてこの時期としては結構な雪の量である。天気が悪いため裏同心ルンゼはあきらめ、ジョウゴ沢に入るが風が強くて寒く、雪も降り続けている。トレースは無く、膝以上のラッセルで進むとF1はほとんど埋まっていた。この先、あまり期待できそうにない。F2はまずまずの氷結状態で、ここでトップロープを設置して練習したがとにかく寒いので、早めに切り上げて鉱泉に転がり込んだ。

18日 雪 後 晴れ 鉱泉 7:15 F1上 8:50 ジョウゴ沢 F2上 10:20 右俣大滝 11:35～14:55 鉱泉 15:55

強い寒気の影響で、朝はガスで稜線は見え、小雪が舞っていた。あまり期待できないが、裏同心ルンゼに行ってみることにする。股近いラッセルとなり、なかなか前に進めない。F1はほぼ埋まっていたが、一部露出した氷を登り上に抜けた。しかし、いつもは見えるF2のブルーアイスは見えず、雪壁が立ちはだかっていた。これであきらめがついたので、ジョウゴ沢に転進することとする。下りは速く、すぐに登山道に合流しジョウゴ沢へ。昨日我々がつけたトレースはほぼ埋まっており、またもやラッセルで進む。F1は右から巻き、F2は登るがKTさんの体調が今一つのことと、KTさんはここから引き返すことに。登りだすと、後続2人パーティーが現れた。あいかわらず低温で強風だが、空が少しずつ明るくなってきたようにも感じられる。

ゴルジュから先は雪崩が考えられるため、右俣大滝でアイスの練習をすることとし、引き続きラッセルで進む。右俣に入って登っていると、青空が拡がり出しわずかだがぬくもりも感じられた。右俣大滝の氷結は良好で、早速リードで登りトップロープを設置した。短いがバーティカルであり、我々の貸し切りであったため短時間で良い練習ができた。15時前には切り上げ、鉱泉に戻ってゆっくり過ごした。

19日 ガスのち曇り 鉱泉 7:30 小滝 8:50～11:55 美濃戸 13:30

天気によっては三叉峰ルンゼを予定していたが、朝はガスが低く小雪が舞っていたので南沢大滝・小滝に行くこととした。気温は低く、12月中旬とは思えない積雪量である。南沢大滝は予想通りの盛況らしく、入り込む隙間が無いとのこと、小滝で順番待ちをすることに。40分ほど他の方の登りを見学していたら、中央が空いたので登らせてもらう。まだ氷が少ないのに皆がガシガシ登るものだから、中央の氷が凸凹になっておりスクリーが打てないかもしれないため、少し右側から登った。後は3人で練習したが、待っている方もいたので昼で切り上げ、美濃戸へ下山した。



17日 鉱泉に到着 天気悪し



ジョウゴ沢へ F1が雪壁に



F2が霞んで見えてきました



まずまずの氷結 右側はダメ



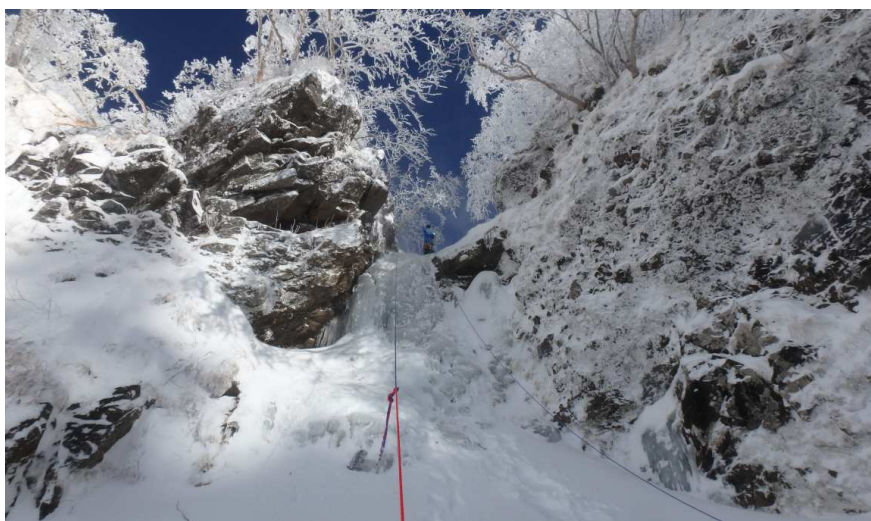
18日 裏同心ルンゼへ  
いつもなにげなく辿るトレースの  
ありがたさが身に沁みます



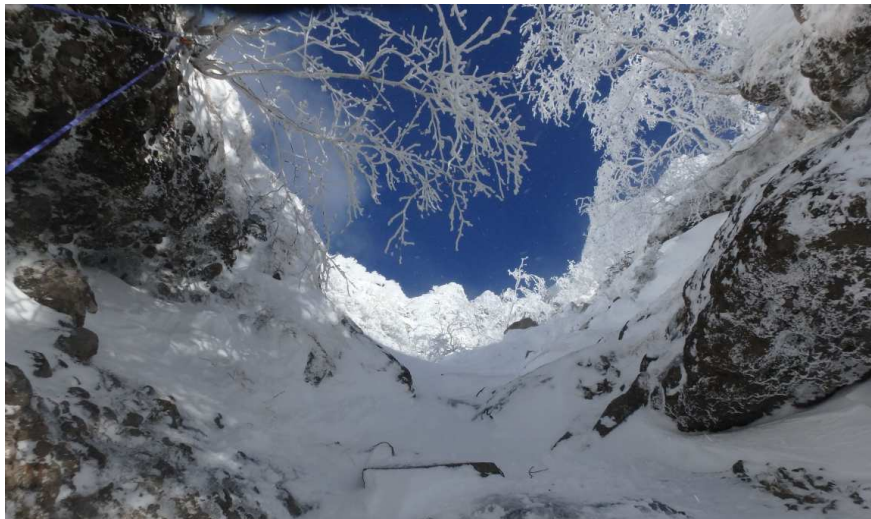
F2 壁が出現 こりゃーダメだ



ジョウゴ沢へ転進 F2 を登って  
右俣大滝へ



右俣大滝でなんと青空に！  
貸し切りで練習



すばらしい景色です



大同心は真っ白でした



19日 天気が悪く小滝へ  
ちなみに大滝は満員盛況でまず無理



待っていたら空きました  
奮闘中のRKさん（上） スクリュー打ってます